

組立・施工説明書



引違い窓 居室仕様



- 真空・単板仕様を追加しました。
- 換気框を追加しました。

《お願い》

商品の組み立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組み立て方法、施工方法をまとめたものです。本説明書をよくお読みいただき、安全に正しく組み立て、施工を行ってください。

はじめにお読みください



このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は「ウチリモ 内窓 引違い窓 居室仕様」の組み立て、施工について説明しています。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。
お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。







本説明書内の表記

警告／注意／お願い

- 商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て、施工を行ってください。

表記	意味
 警告	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
 注意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される
お願い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

その他の表記

表記	意味
 改訂	商品や作業の変更点
	作業するうえで必要な情報
	知っておくと便利な情報
	必ずシーリングをする箇所
	電動ドライバーの使用禁止
	電気工事士の資格が必要な作業

- 一部を除き、本説明書内の単位は「mm」で示しています。

もくじ

もくじ	P.1
安全にお取り扱いいただくために	P.2
障子の組み立て（ノックダウンの場合）	P.4
同梱一覧 改訂	P.4
障子の組み立て 改訂	P.4
作業前の確認	P.8
同梱一覧	P.8
運搬時、保管時のお願い	P.8
開口精度の確認	P.9
取り付け面の強度の確認	P.11
枠の取り付け	P.12
たて枠の取り付け	P.12
上枠の取り付け	P.15
下枠の取り付け	P.16
W=1000 以下の場合	P.17
開口部の調整方法例	P.19
障子の吊込み	P.21
障子の吊込み	P.21
調整	P.22
上枠と障子のかかり代の確認	P.22
障子を閉じた状態で、障子がガタつく場合（たて枠と障子にすき間がある場合）	P.23
クレセントを施錠した状態で障子がガタついたり、クレセントがかかりにくい場合	P.23
はずれ止めの取り付け	P.25
障子ストッパーの取り付け	
（偏芯 2 枚建、偏芯 4 枚建で外障子が内障子より大きい場合）	P.27

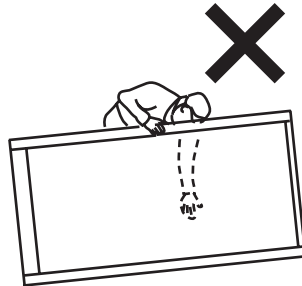
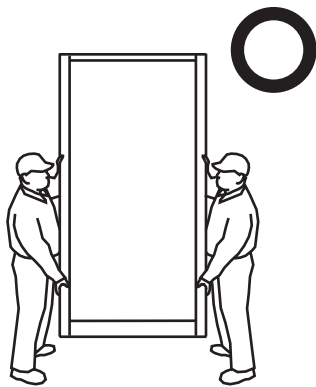
安全にお取り扱いいただくために

⚠ 注意

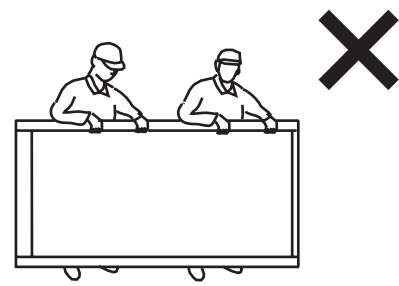
- 作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
お客様ご自身で作業され不備があると、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 組み立て、施工の際は、必ず同梱部品を使用してください。
性能に影響を及ぼし、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 本説明書記載以外の組み立て、施工など、改造を行わないでください。
性能に影響を及ぼし、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 商品の切り詰め加工はしないでください。
性能に影響を及ぼし、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 組み立て、施工は、同梱のねじを使用し、最後まで締め付けてください。
締め付け不良は、性能に影響を及ぼし、漏水や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 商品が破損、変形しないよう、取り扱いには十分注意してください。
破損、変形した商品を取り付けた場合、性能に影響を及ぼし、漏水や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 取り付け前の商品に直射日光が当たり、高温になるような場所に放置しないでください。反ったり、変形したりした場合、性能に影響を及ぼし、漏水や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 電動ドライバー、エアドライバーを使用する際は、適正トルクでねじ留めしてください。
締め付け不良は、商品の変形や漏水につながるおそれがあります。
締め付けトルクは、以下を目安に設定してください。
障子: $2.0\text{N}\cdot\text{m}$ ($20\text{kgf}\cdot\text{cm}$)
樹脂枠: $1.0\sim 1.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($10\sim 15\text{kgf}\cdot\text{cm}$)
- 取り付け開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれのないことを確認してください。
取り付け開口部の精度が悪いと商品の性能に影響を及ぼすおそれがあります。

お願い

- 商品の上ののったり、はしごをかけたりしないでください。
無理な重さをかけると、変形して破損するおそれがあります。
- 商品運搬時は、たて框をしっかり支えて持ち運んでください。
片側の框のみを持つと、重みで框が抜けるおそれがあります。

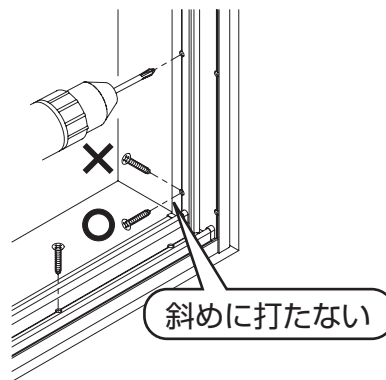


片側を支点



横にして、たて框片側のみ

- ねじはまっすぐに打ってください。
斜めに打つとねじ頭が浮くおそれがあります。



- 清掃が必要な場合は、中性洗剤(1~2%の水溶液)を使用してください。
酸・アルカリ・塩素系の洗剤液や有機溶剤を使用すると、ひび割れやはがれ、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 塩素系薬品(次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など)を使用した場合、必ず清潔な布や紙で水拭きしてください。
表面に付着したまま放置されると、変色するおそれがあります。
- ポリサルファイド系のシーリング材は、使用しないでください。
商品が変色するおそれがあります。

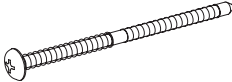



- 作業を行う際は、作業に適した服装で、保護具(保護帽、安全帯、目・耳・手・足の保護具)を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、安全確保を行ってください。
- 商品の運搬、組み立て、吊込みは、相応の人数で行ってください。
(最大で約50kgになります。)
- 商品表面にキズがつかないように、取り扱いには十分注意してください。





障子の組み立て（ノックダウンの場合）

改訂

同梱一覧

姿 図		
品 名	小トラスタッピン ねじ2種(φ4×70)	穴塞ぎキャップ
品 番	7K-13655	K-38558
個 数	8~32	6~40
備 考	障子組み立て用	障子組み立て用
障子に同梱		

■単板ガラス仕様の場合

使用ガラス厚	3ミリ	4ミリ	5ミリ	6ミリ
組子付き の場合	—	3ミリ	4ミリ	5ミリ
姿 図				
品 番	3K-21063	3K-21064	3K-27376	2K-23671

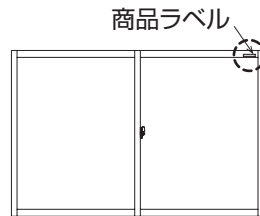
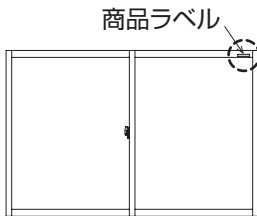
改訂

障子の組み立て

1 上框の商品ラベル位置を確認してください。

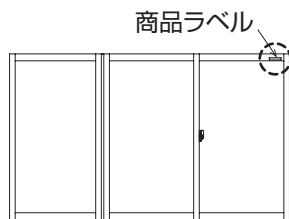
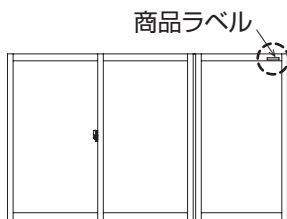
【2枚建 正（左）勝手】

【2枚建 逆（右）勝手】



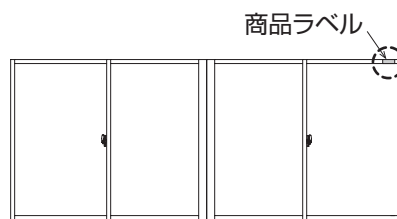
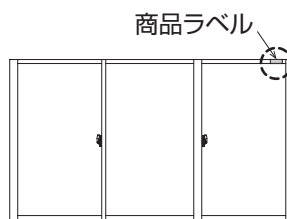
【3枚建（外・内・内）】

【3枚建（内・内・外）】



【3枚建（外・内・外）】

【4枚建】



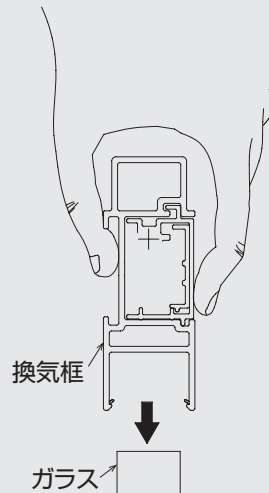
2 換気框付きの場合

- ① 換気框取り付け部分のガラス高さ寸法が48mm短いことを確認してください。
- ② 操作ツマミを室内側にして、換気框をガラスに差し込んでください。

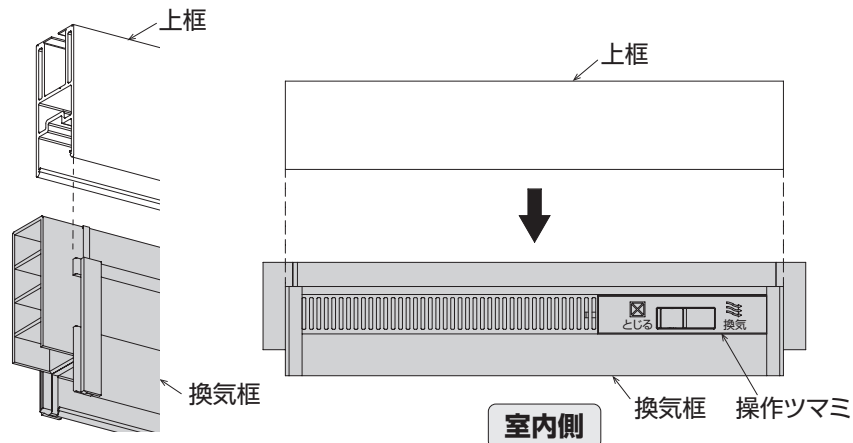


換気框が差し込みにくい場合

室内外のスリット部分を持ちながら挿入してください。



- ③ 上框を換気框に差し込んでください。



3 単板ガラス仕様の場合

ガスケットを継ぎ目が上側になるようにしてガラスに巻いてください。

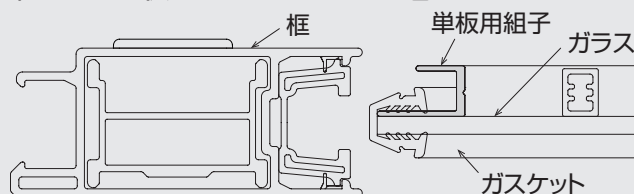
お願い

- ・ ガスケットを巻く際は、下記事項を遵守してください。
ガスケットの縮みにつながるおそれがあります。
- ・ 少し長め（1辺あたり約3%）に余裕をとって巻く
- ・ 引っ張りながら巻かない



単板ガラス仕様組子付きの場合

組子をガラス室内面にのせた状態でガスケットを巻いてください。



4 取付ねじが上下框のビスホールに通っていることを確認して、障子を組み立ててください。

お願い

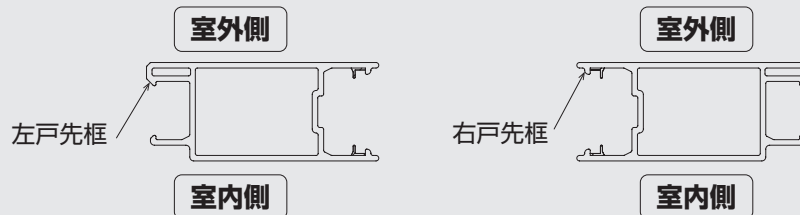
- スペーシアクルの保護キャップを室外側に向けてください。
室内側に向けると熱割れするおそれがあります。

<外窓> <内窓>

<外窓> <内窓>

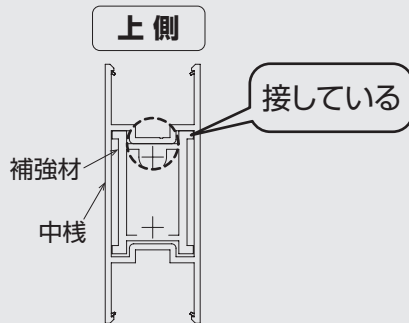


- ねじを締め付け過ぎないでください。
電動ドライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。
2.0N・m(20kgf・cm)
- 戸先框は、凹凸のある面が室内側です。

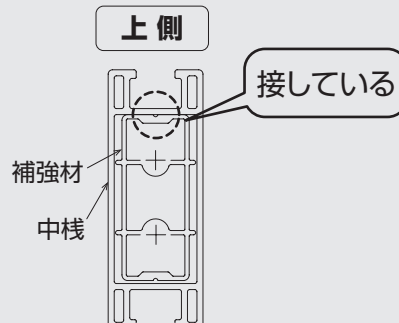


- **テラスタイプの場合** 中棧は、補強材が樹脂材に接しているほうが上側です。

● 複層ガラス仕様



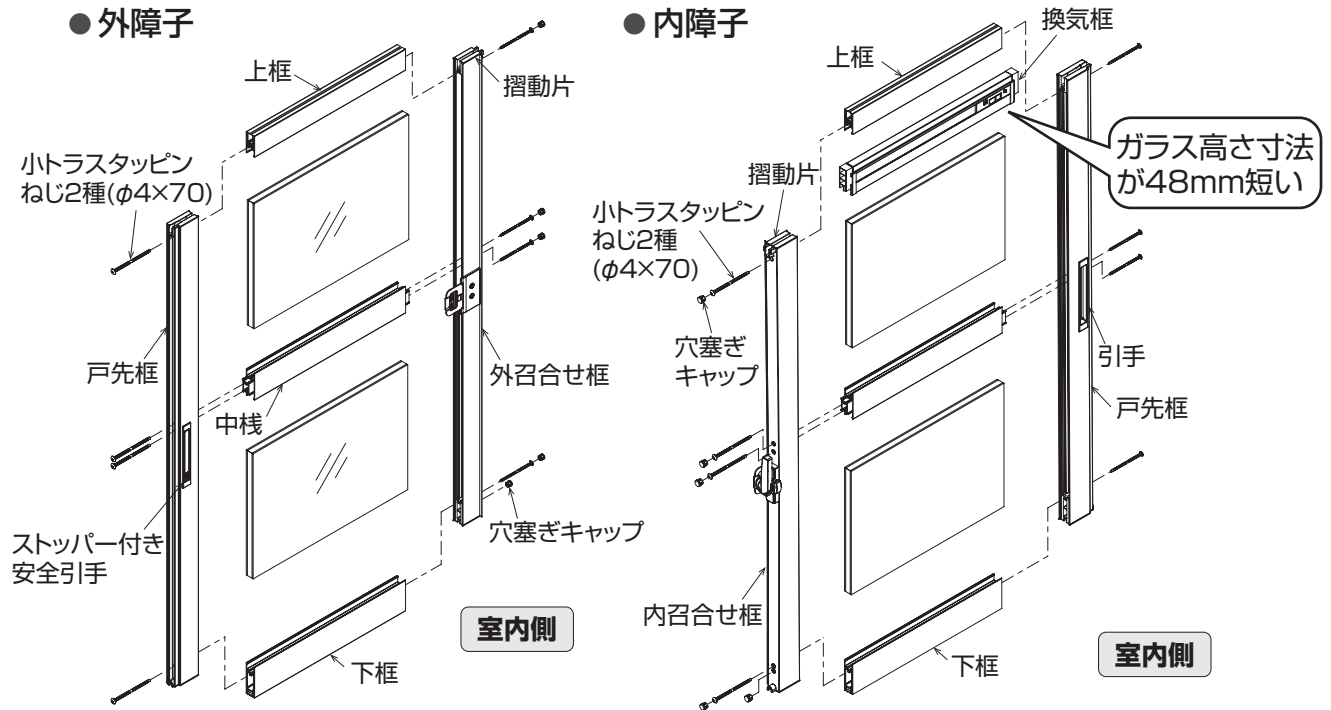
● 単板ガラス仕様



- **障子が組み立てにくい場合**

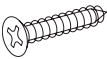
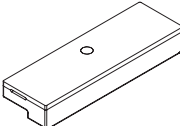
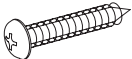
框に当て木をあて、当て木の上から木づちで少しずつたたき込んでください。
直接木づちで框をたたくと框が破損するおそれがあります。

- 図は2枚建 テラスタイプ、複層ガラス仕様 中棧付（内障子換気框付・ストッパー付き安全引手付き）で示しています。

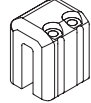





作業前の確認

同梱一覧

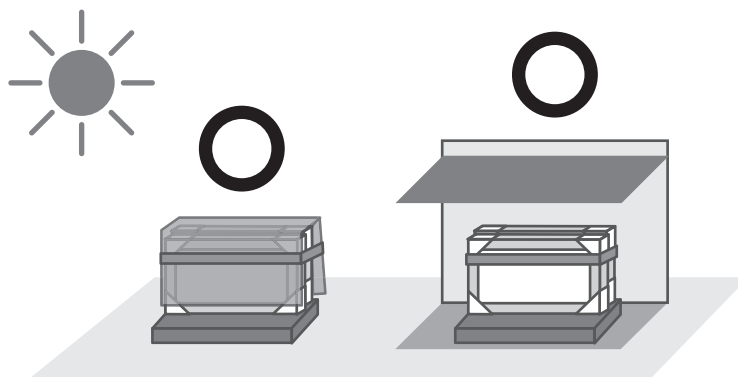
姿 図			
品 名	皿木ねじ ($\phi 3.5 \times 20$)	はずれ止め	小トラスタッピン ねじ1種($\phi 4 \times 25$)
品 番	WF-3520	3K-33425	AM-4025
個 数	12~88	1~4	1~4
備 考	枠取り付け用	—	はずれ止め取り付け用
枠に同梱			

■偏芯2枚建、偏芯4枚建で外障子が内障子より大きい場合

姿 図				
品 名	障子ストッパー		小トラスタッピン ねじ1種($\phi 4 \times 45$)	小トラスタッピン ねじ1種($\phi 4 \times 30$)
品 番	3K-33597	3K-33598	AM-4045	AM-4030
個 数	1~2	1~2	2~4	2~4
備 考	上枠用	下枠用	障子ストッパー(上) 取り付け用	障子ストッパー(下) 取り付け用
枠に同梱				

運搬時、保管時のお願い

- 室内や日陰に保管して、直射日光に当てないでください。
- 直射日光に当たる可能性がある場合は、密封しないようにシートなどをかけてください。
- 窓を重ねる場合は、キズ・こすれないように緩衝材で保護してください。
- 窓の上に物を置かないでください。キズなど損傷の原因となります。
- 風にあおられないよう、窓を固定してください。
- 紐などで窓を固定する場合は、窓との間に緩衝材を用いて、強く結びすぎないようにしてください。

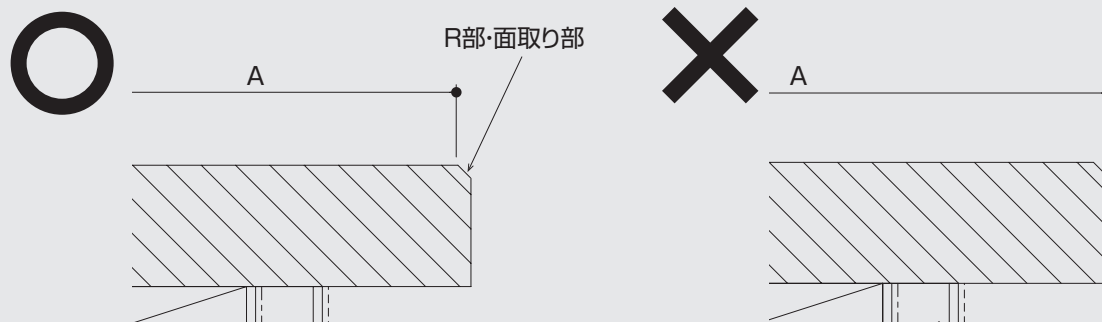


開口精度の確認

1 窓額縁見込寸法：Aが47mm以上であることを確認してください。



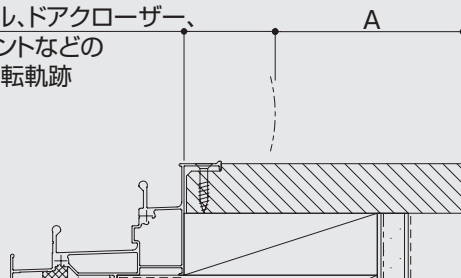
- ・ A寸法は以下のとおりとしてください。
- ・ 窓額縁の角部にあるRや面取りを除いた平面部の寸法としてください。



外窓の操作部品などがある場合は、小さい方の寸法としてください。

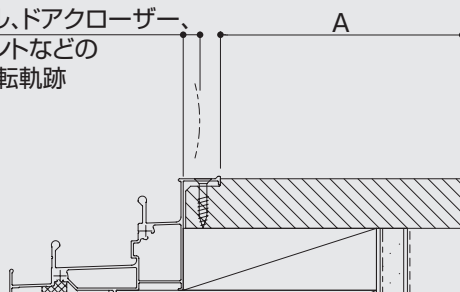
● 操作部品などが枠から突出している

ハンドル、ドアクローザー、
クレセントなどの
最大回転軌跡

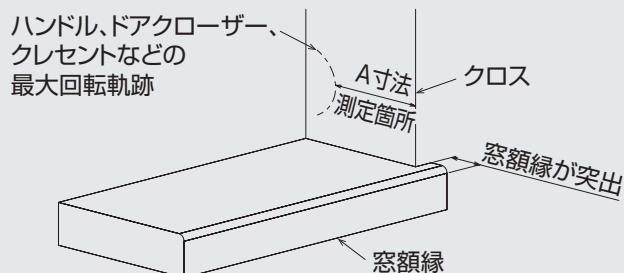


● 操作部品などが枠から突出していない

ハンドル、ドアクローザー、
クレセントなどの
最大回転軌跡



- ・ たて、よこで異なる場合は、小さいほうの寸法としてください。
- ・ クロス巻込み納まりで、下のみ窓額縁がある場合は、小さいほうの寸法としてください。



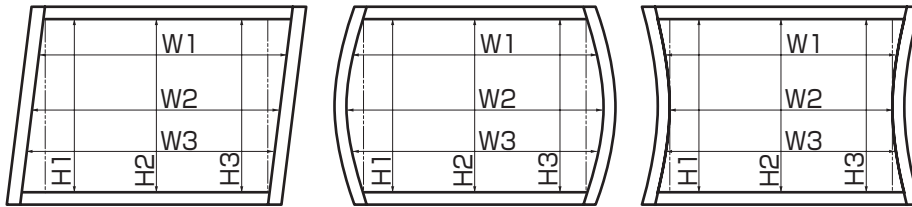
2 窓額縁見込み寸法Aが47mm未満の場合

ふかし枠を使用してください。

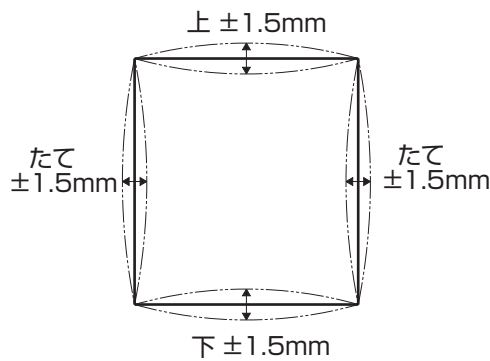


- 外窓のクレセントが内窓にあたらないように取り付けてください。クレセントの回転軌跡や、外窓の内召合せ框の見込寸法によっては、窓額縁見込み寸法が変わります。
- 外窓のクレセントが内窓にあたる場合、取り付け位置・勝手の変更や、外窓のクレセントをノブの短いものに付け替える必要があります。オプションの取り替え用クレセント BS-HCA-R (L) を別途手配して使用してください。

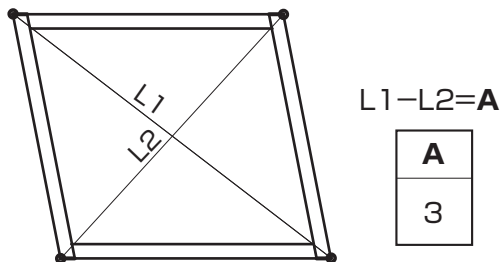
3 H1～H3およびW1～W3の3箇所を採寸してください。



4 上下左右のたわみが±1.5mm以内であることを確認してください。



5 枠の対角差が3mm以内であることを確認してください。



6 開口部のたわみ量が範囲を超えている場合

開口部を調整してください。

「開口部の調整方法例 (→P.19)」

取り付け面の強度の確認

⚠ 注意

- 取り付け面が商品重量を支えられることを確認してください。
強度が不足している場合は、障子脱落など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
必要に応じて木ねじや造作材などで補強してください。

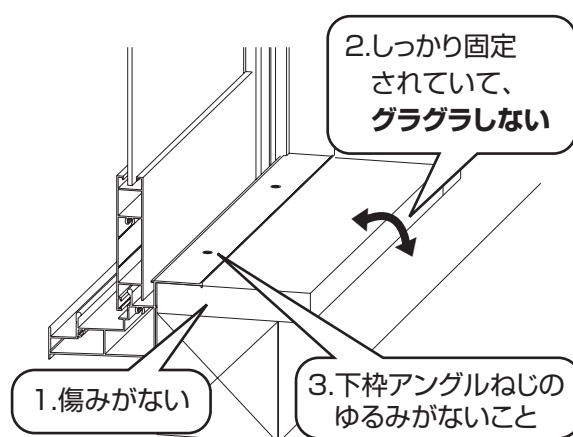
1 取り付け面に傷み(腐朽・割れ)がないことを確認してください。

2 取り付け面がグラグラしないことを確認してください。

3 下枠アングルねじがある場合

下枠アングルねじのゆるみがないことを確認してください。

ゆるみがある場合、下枠アングルねじをゆるみなく締め付けてください。



枠の取り付け

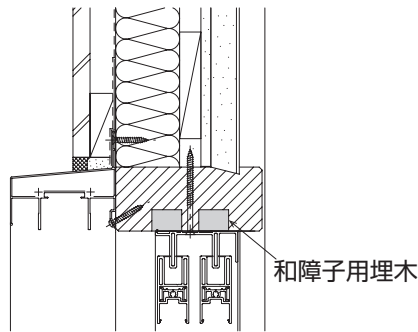
たて枠の取り付け

1 和室に取り付ける場合

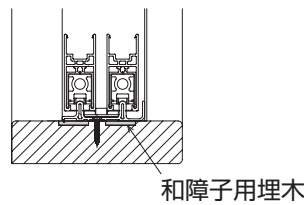
鴨居や敷居のレール溝を埋めてください。
和室用取付ねじを使用して上枠を取り付けてください。

- ・和障子用埋木：BS-MUH-1
- ・和室用取付ねじ：BS-PUH-34

● 上部

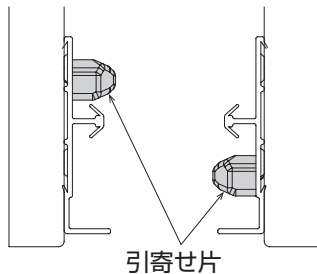


● 下部

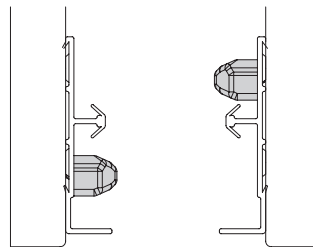


2 たて枠のヒレの向きと引寄せ片の見込み位置で左右を確認してください。

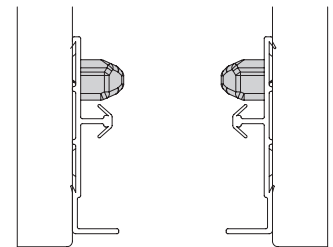
- 2枚建 正勝手
- 2枚建 逆勝手
- 3枚建 両袖タイプ
- 3枚建 突合せタイプ (外・内・内)
- 3枚建 突合せタイプ (内・内・外)
- 4枚建



室内側



室内側



室内側

3 開口部を調整する場合

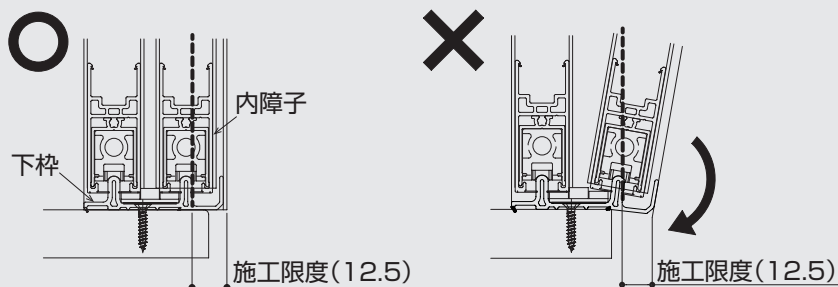
施工調整スペーサーをすき間にあわせて厚みを調整してください。
「開口部の調整方法例 (→P.19) 参照」

4 額縁より枠を室内側に持ち出す場合

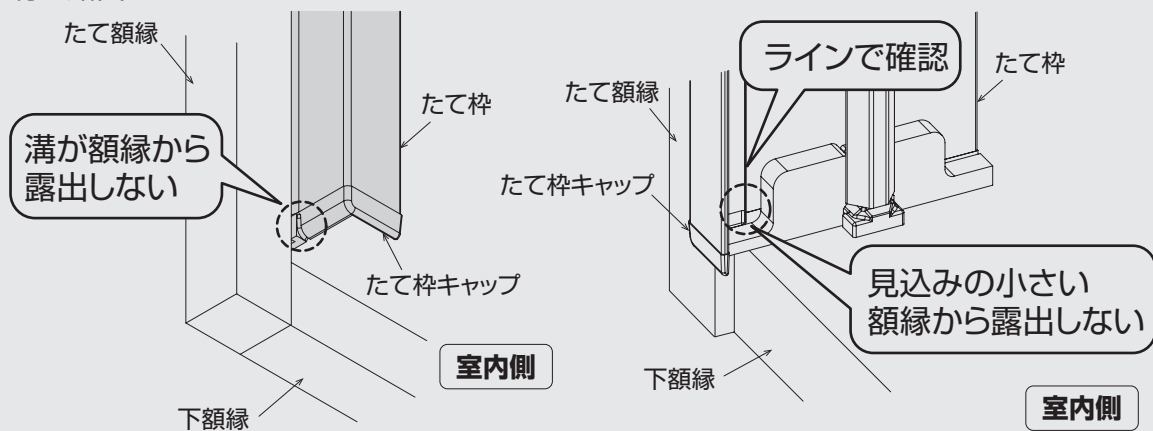
額縁に段差があるときは、見込みの小さい額縁を基準としてください。



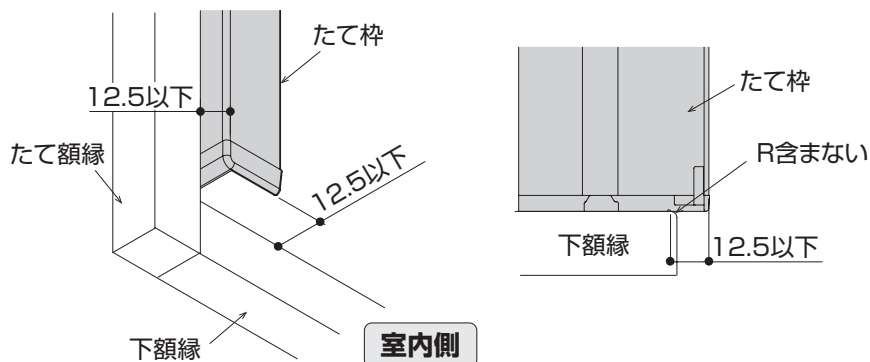
- 施工限度を超えると下枠が障子の荷重を支えきれず、障子脱落のおそれがあります。



- たて枠キャップ裏面の溝、内側のラインは施工限度の目印です。溝が露出しないようにしてください。



- ① たて枠を取り付け位置に仮置きしてください。
- ② 下額縁からの出寸法、たて額縁からの出寸法どちらも12.5mm未満であることを確認してください。



5 W1000以下の場合

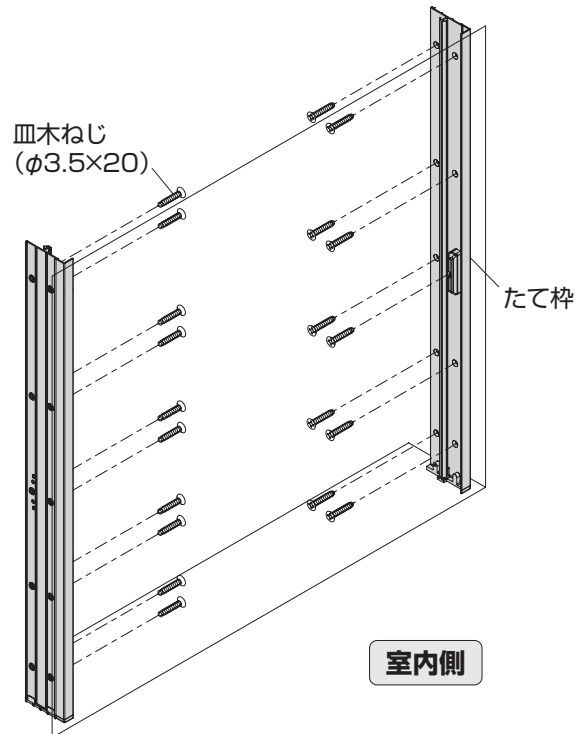
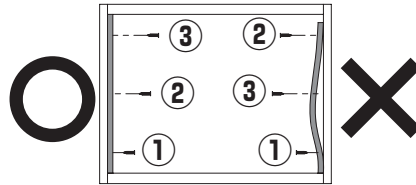
W=1000以下の場合 (→P.17) に進んでください。

6 たて枠を取り付け位置に仮置きしてください。

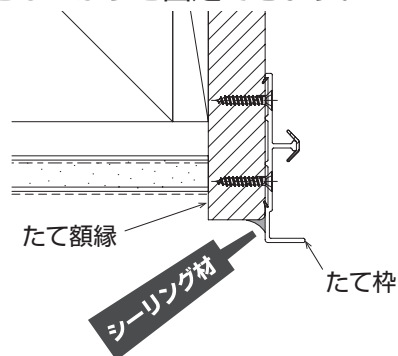
7 たて枠のねじれ・倒れが無いことを確認してください。

お願い

- 中間部がたわまないように端部から順番にねじで固定してください。
たわんだままねじで固定すると、枠が波打ちします。

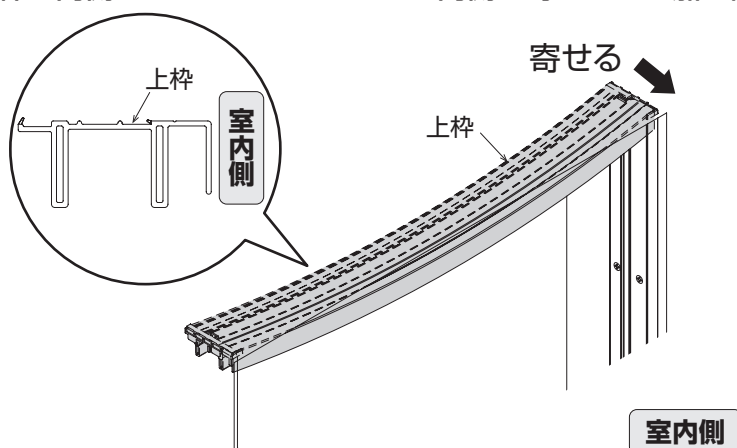


- 額縁より枠を室内側に持ち出して施工した場合に、枠の動きが気になるときは枠と額縁の間をシーリングするとしっかりと固定できます。

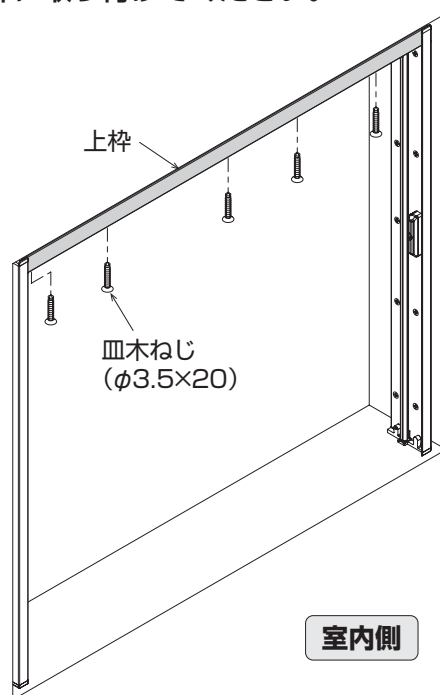


上枠の取り付け

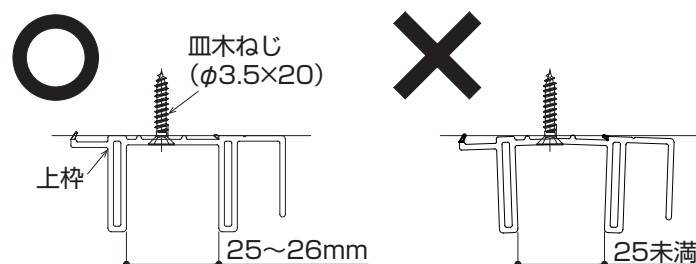
- 1 上枠をたて枠室内側のヒレにあたるように室内側に寄せながら加工部にはめ込んでください。



- 2 上枠を端部から順番に開口部に取り付けてください。



- 3 上枠レール先端を測り、25~26mmになっていることを確認してください。レール先端が25mm未満の場合は、ねじを少しゆるめて調整してください。



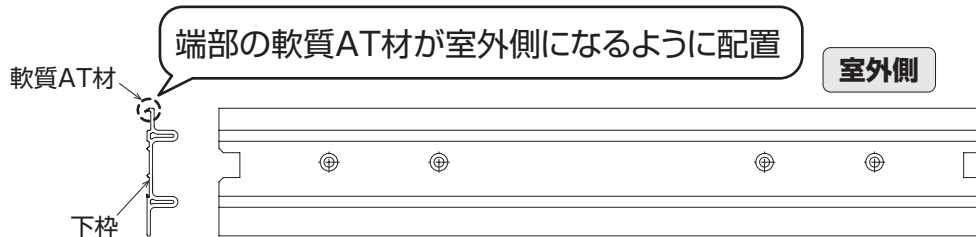
4 開口部を調整する場合

バックアップ材を開口部と枠の間に挿入して、シーリングしてください。
「開口部の調整方法例 (→P.19) 参照」

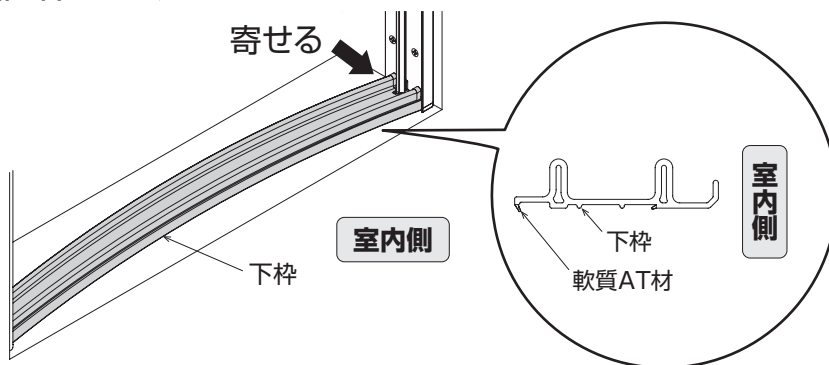
下枠の取り付け

1 間仕切り用下枠の場合

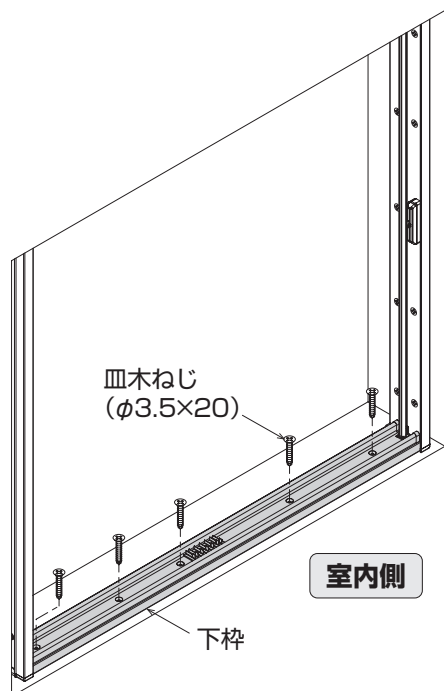
軟質AT材の位置で内外の向きを確認してください。



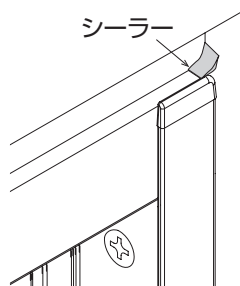
2 端部の軟質AT材を室外側にして、下枠をたて枠室内側のヒレにあたるように室内側に寄せながら加工部にはめ込んでください。



3 下枠を端部から順番に開口部に取り付けてください。

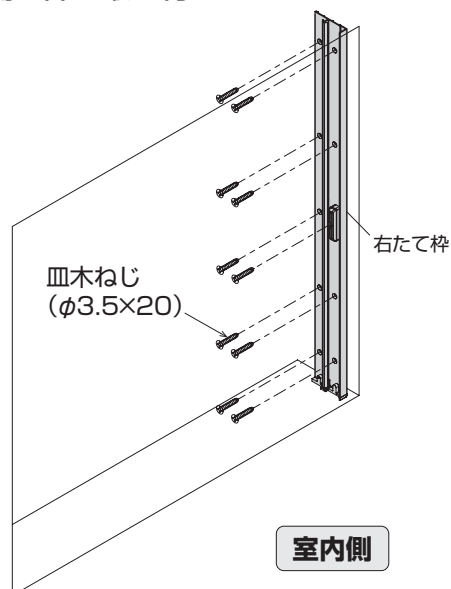


4 持ち出し施工でシーラーが上下にはみ出している場合は、はみ出した部分をはさみなどで切断してください。

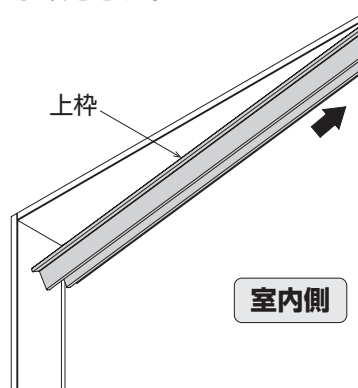


W=1000 以下の場合

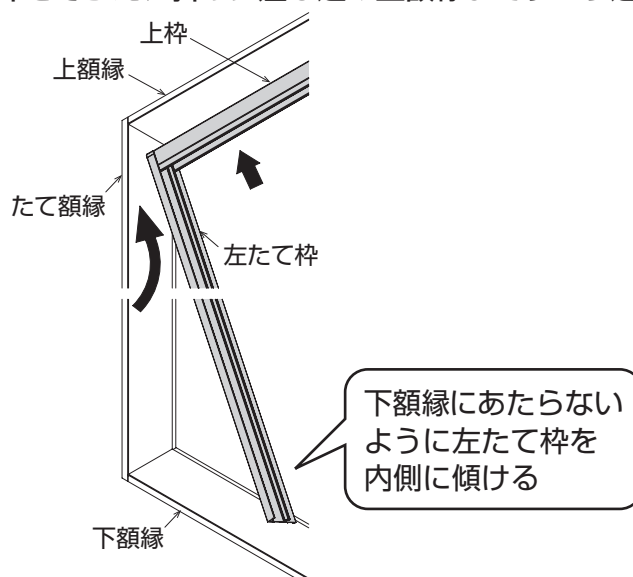
- 1 手順1~4を確認してください。「たて枠の取り付け (→P.12) 参照」
- 2 右たて枠を端部から順番に開口部に取り付けてください。



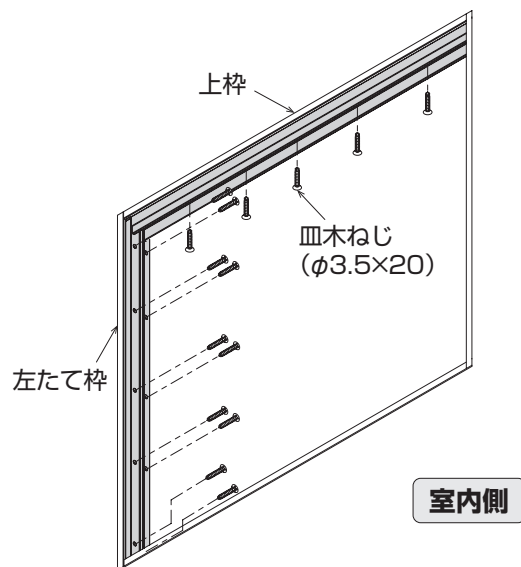
- 3 上枠を右たて枠上部に差し込んでください。



- 4 上枠、左たて枠の端部をそろえ、斜めに差し込み上額縁まですべり込ませてください。



5 上枠、左たて枠を端部から順番に開口部に取り付けてください。



6 下枠を取り付けてください。
「下枠の取り付け (→P.16) 参照」

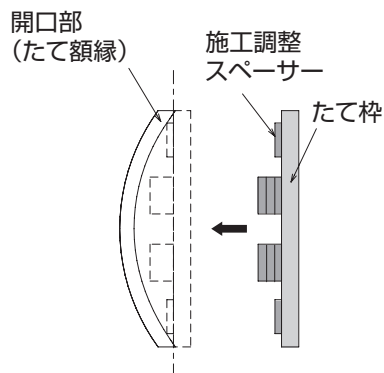
開口部の調整方法例



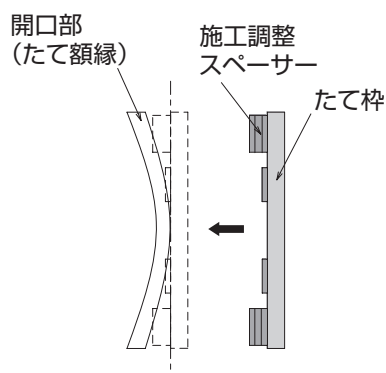
• BS-MUH-4~6 (オプション) を使用してください。

1 施工調整スペーサーを開口部と枠のすき間にあわせて厚みを調整し、枠に貼り付けてください。

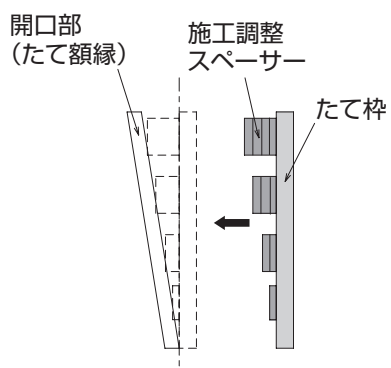
● ソリ (フクレ)



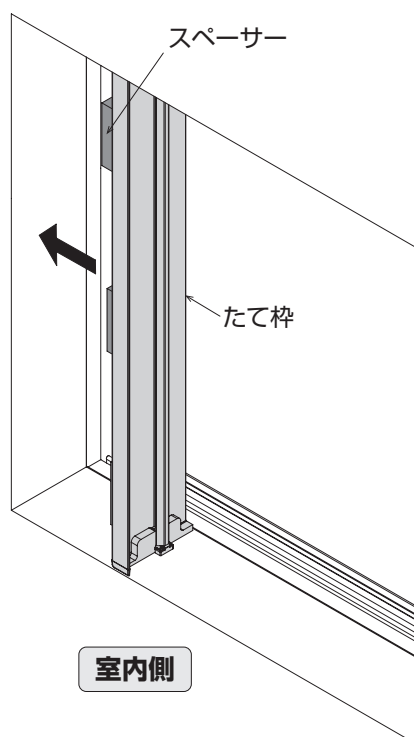
● ソリ (ツツミ)



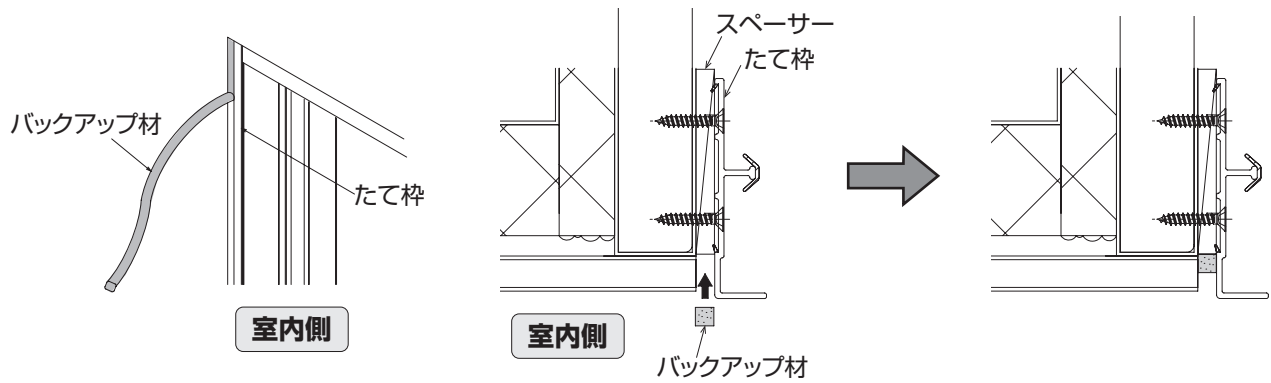
● 対角差



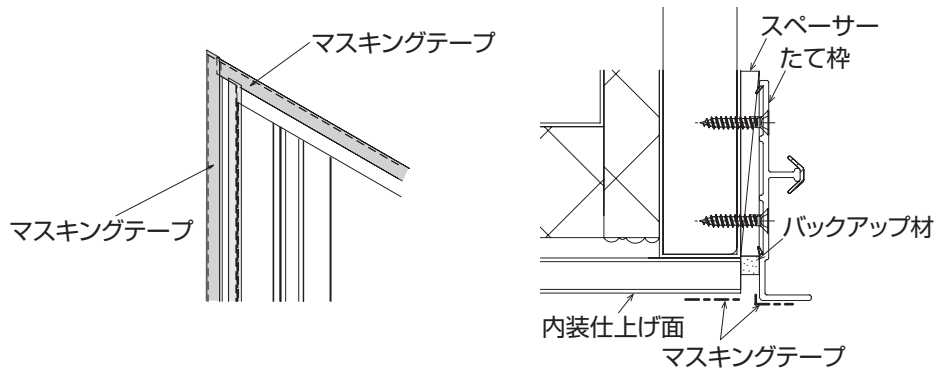
2 枠を開口部に取り付けてください。



3 バックアップ材を開口部と枠の間に挿入してください。

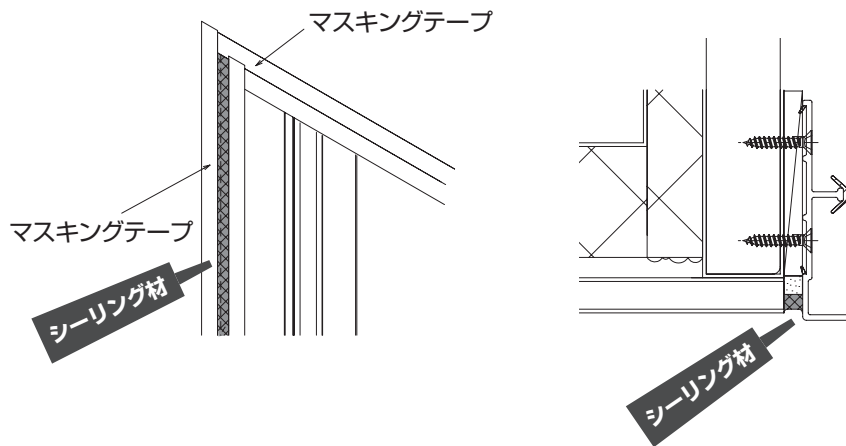


4 よこれ防止のため、マスキングテープを内装仕上げ面と枠に貼ってください。

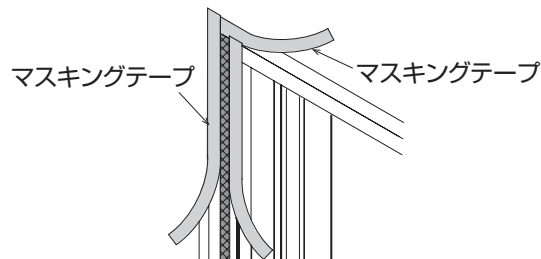


5 開口部と枠のすき間にシーリングしてください。

6 ヘラで余分なシーリング材を落としてください。



7 マスキングテープを取りはずしてください。



障子の吊込み

障子の吊込み

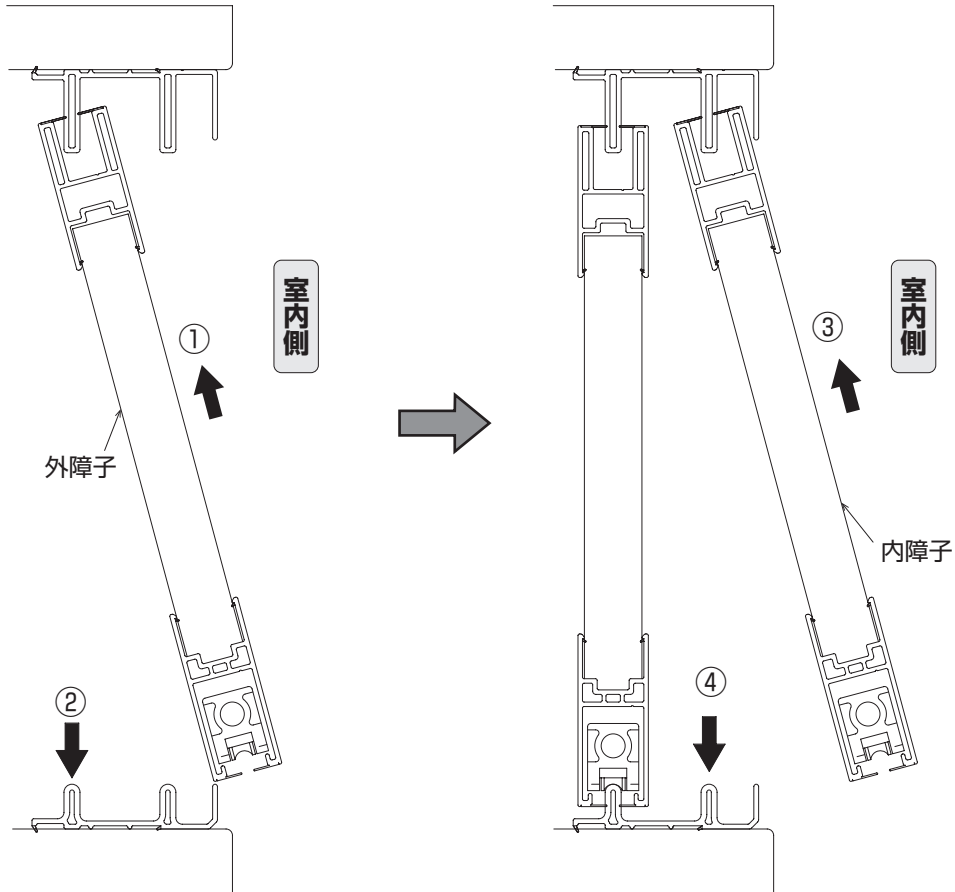


- **たて框の端部にテープが付いている場合**
テープをはがしてから吊り込んでください。

1 室内側から外障子→内障子の順に吊込んでください。



- **外障子が吊込みにくい場合**
一度室外側に障子をふり出してから吊込んでください。



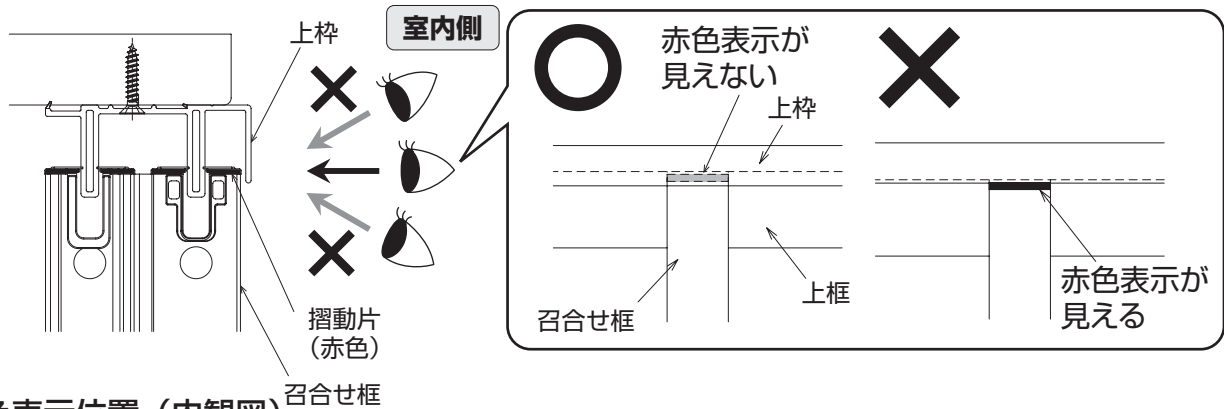
2 スムーズに開閉できることを確認してください。

上枠と障子のかかり代の確認

1 上枠下端の正面から、内障子召合せ框上部、突合せ框上部の赤色表示が見えないことを確認してください。

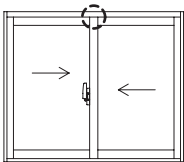
⚠ 注意

- 赤色表示が見えなくなるまで、戸車調整で障子を調整してください。赤色表示が見える場合は、開口の狂いが許容範囲を超えており、上枠と障子のかかり代が少ない状態で、障子脱落など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。戸車調整で改善されない場合は、開口部と上枠の間にスペーサーを入れて調整してください。「開口部の調整方法例 (→P.19) 参照」

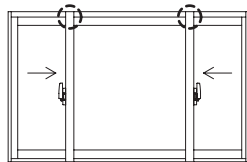


● 赤色表示位置 (内観図)

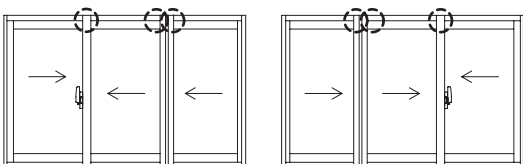
【全サイズ (2 枚建)】



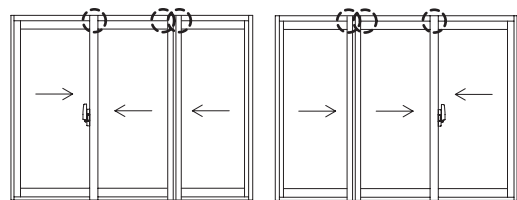
【全サイズ (3 枚建両袖タイプ)】



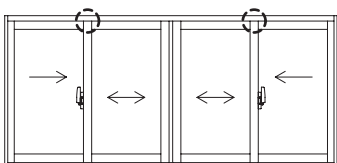
【窓タイプ (3 枚建突合せタイプ)】



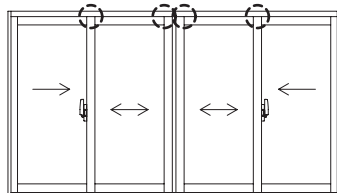
【ランマ通しタイプ (3 枚建突合せタイプ)】



【窓タイプ (4 枚建)】



【ランマ通しタイプ (4 枚建)】



障子を閉じた状態で、障子がガタつく場合（たて枠と障子にすき間がある場合）

戸車の調整

1 召合せ框の場合

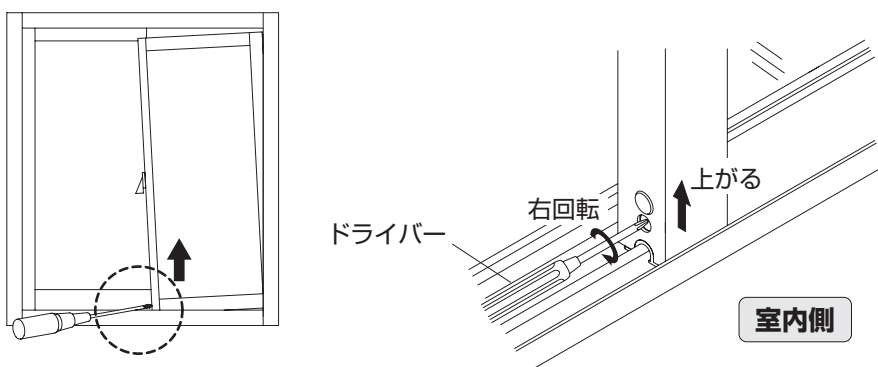
穴塞ぎキャップをはずしてください。

2 ねじ穴にドライバーを差し込み、調整ねじをまわしてください。右回転で障子が上がります。

3 穴塞ぎキャップを取り付けてください。



- 出荷時、障子は下がった状態にしてあります。それ以上は下がりません。上げたい場合のみ、戸車を調整してください。



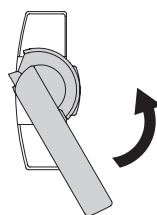
クレセントを施錠した状態で障子がガタついたり、クレセントがかかりにくい場合

クレセントの調整

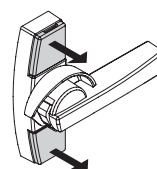


- 取付ねじは、はずさないでください。ねじが紛失したり、部品が落下したりするおそれがあります。

1 クレセントを中間位置までまわしてください。

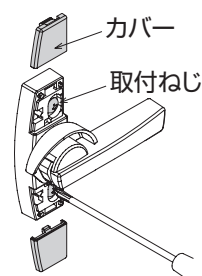


2 クレセントの上下カバーをはずしてください。



3 取付ねじをゆるめ、上下に動かして位置を調整してください。

4 取付ねじを締め付けてカバーを元に戻してください。

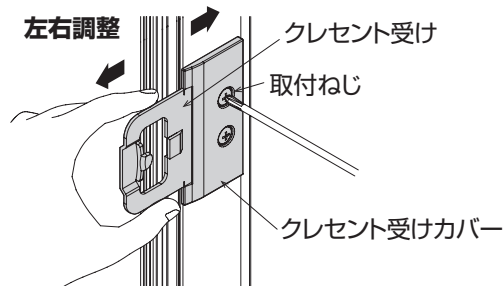


クレセント受けの調整

- 1 取付ねじをゆるめ、クレセント受けを左右に動かして調整してください。
- 2 クレセント受けがズレないように、上下のねじを交互に少しずつ時計回りにまわして固定してください。



• すべりにくい手袋を着用すると作業がしやすくなります。

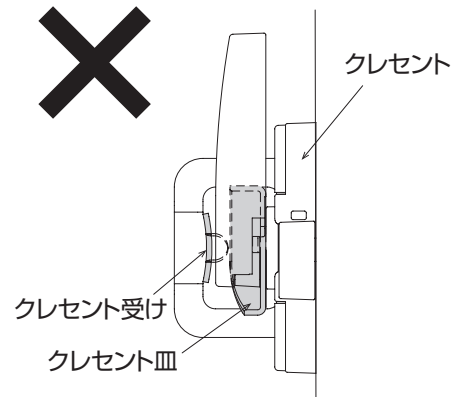
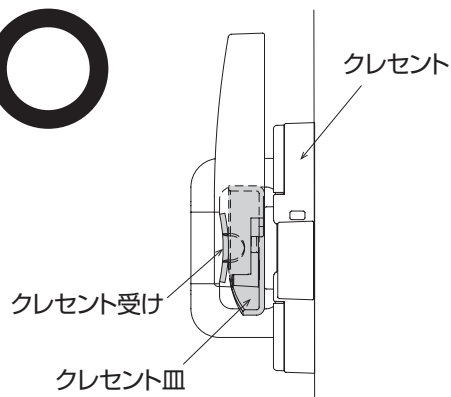
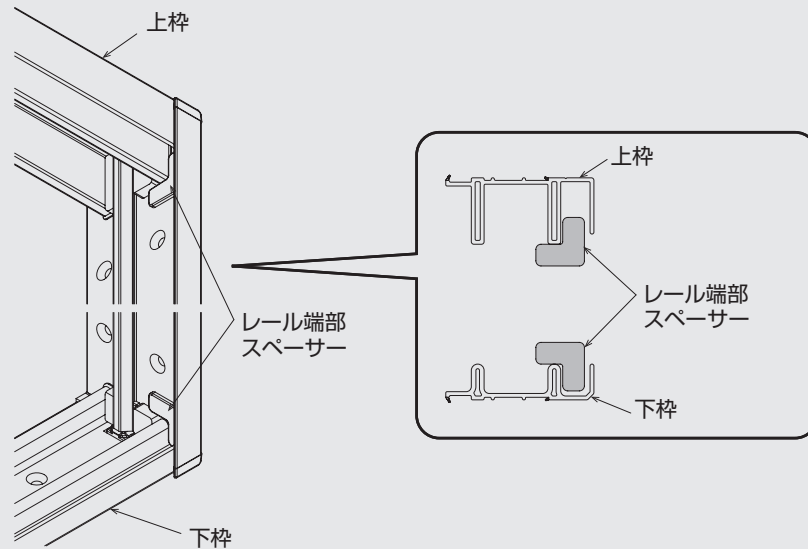


- 3 クレセントを施錠し、クレセント皿とクレセント受けがしっかりとあたっていることを確認してください。



調整後、障子が左右にがたつく場合

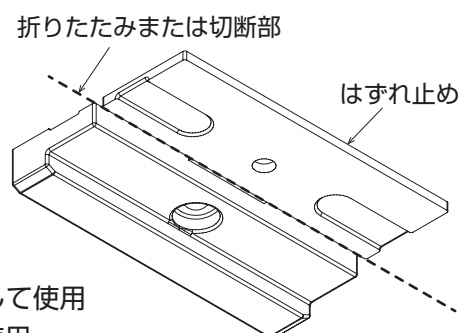
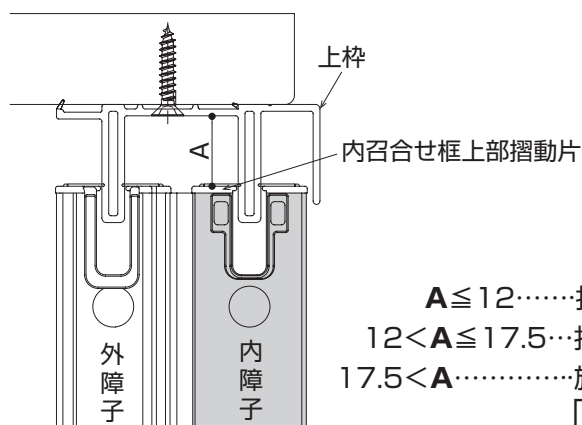
必要に応じてレール端部スペーサー（オプション：□BS-MUH-2 20枚入り）で調整してください。



はずれ止めの取り付け

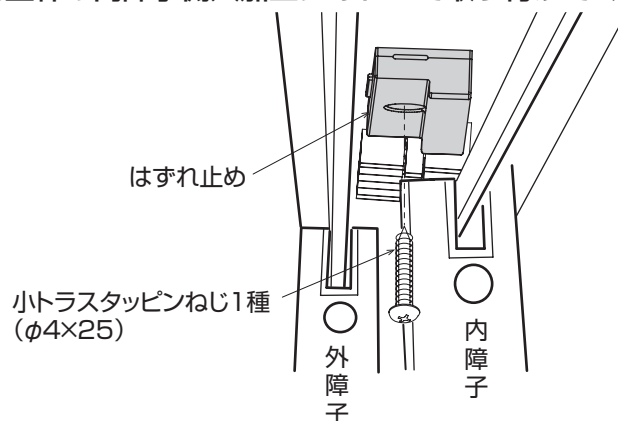
1 内召合せ框上部の摺動片と上枠のチリを測定してください。

2 チリに応じて、はずれ止めの使用形態を決定してください。



$A \leq 12$ ……折れ部で切断して使用
 $12 < A \leq 17.5$ ……折りたたんで使用
 $17.5 < A$ ……施工調整を行う
 「開口部の調整方法例 (→P.19)」

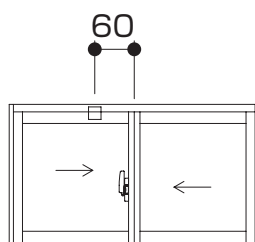
3 はずれ止めを上枠の内障子側穴加工にあわせて取り付けてください。



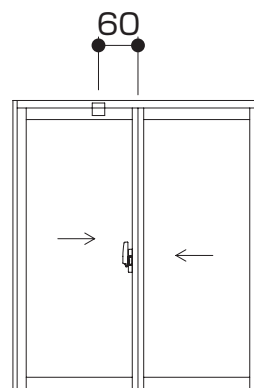
■ はずれ止め取り付け位置

- 図は左勝手 内観図で示しています。
- 障子の割り付けによりはずれ止めの位置は変わります。

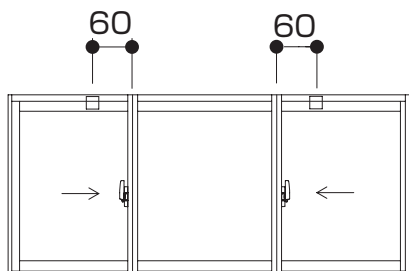
● 窓タイプ(2枚建)



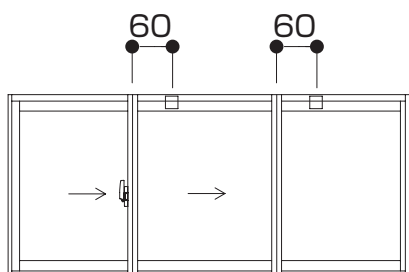
● テラス・ランマ通しタイプ(2枚建)



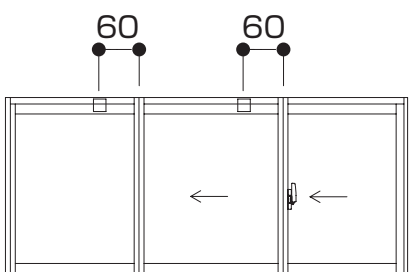
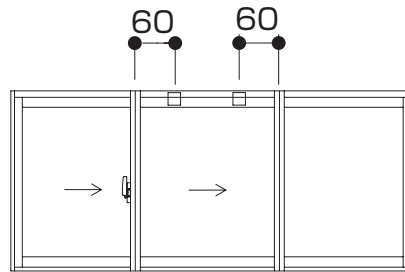
●両袖タイプ (3枚建)



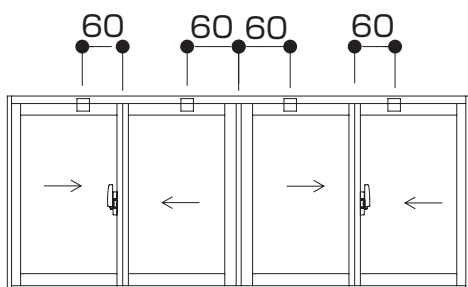
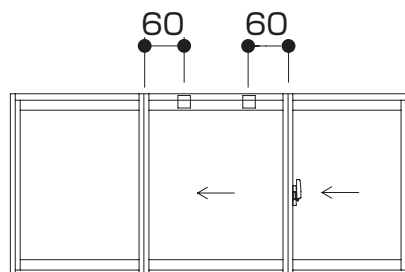
●突合せタイプ (3枚建)



または

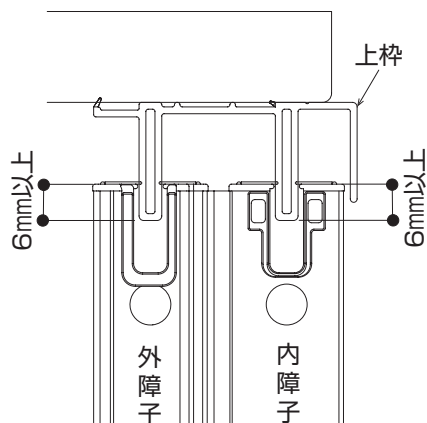


または



4 開閉し、内障子が「障子の吊込み」の逆の手順ではずれないことを確認してください。
 「障子の吊込み (→P.21) 参照」

5 内召合せ框上部の摺動片と上レールのかかり代が6mm以上であることを確認してください。



障子STOPパーの取り付け (偏芯 2 枚建、偏芯 4 枚建で外障子が内障子より大きい場合)

1 ふかし枠・無目へ取り付けする場合

上下枠の穴加工にあわせてふかし枠・無目に下穴($\phi 3.5$)をあけてください。

2 内障子をスライドさせ、上下枠の穴加工にSTOPパーを取り付けてください。

●STOPパー取り付け位置

- ・図は正(左)勝手で示しています。逆(右)勝手の場合は、図の位置と左右反対になります。

